

## 京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： フェンシング 専門部

策定日： 令和 3 年 4 月 20 日

### 1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 高体連登録数の30%以上が出場辞退の場合には大会を中止する。

### 2、大会参加条件について

- ・ 大会参加者に大会2週間前からの健康観察を義務づけ、その間体調に異常があった場合参加は認めない。  
なお、2週間の健康観察はチェックシートにて行い、大会当日提出させる。

### 3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。
- ・ 発熱者が、新型コロナウイルスに感染している可能性がある場合は、所属するチームは大会に参加できない。  
「新型コロナウイルスに感染している可能性」については、発熱者の家族等に聞き取りを行い、発熱者の周囲に過去2週間以内に感染者がいなかったか念入りに確認をとり、チームの責任者と感染予防対策担当者が判断する。

### 4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 参加費等については返金する。
- ・ すでに対戦相手が決定している試合については、相手選手（チーム）の不戦勝とする。

### 5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ 無観客試合とする。生徒応援および保護者等の応援による会場への立ち入りは禁止とする。

### 6、専門部独自の感染症対策について

- 会場において
  - ・ 更衣室では密を避けるため、同時に使用できる人数は通常の半数とする。
  - ・ 会場に滞在できる時間は開場時間の8:30から試合終了後60分とする。
  - ・ 会場校が指定した場所以外の立ち入りは一切禁止とする。
  - ・ フロア入り口にアルコール消毒液を置き、その都度消毒を行う。
  - ・ 会場入り口で検温および健康観察記録を提出させる。
  - ・ 食事は別途部屋を用意し、黙食での食事とする。
- 競技において
  - ・ 試合を行う際には飛沫防止ガードもしくはマスクを着用して試合を行う。
  - ・ 試合を行っていない選手は、必ずマスクを着用しなければならない。
  - ・ 競技中のハイタッチや、大声での気合いがけの禁止。
  - ・ 試合後の握手はせず、剣でのタッチをおこなう。
  - ・ 会場設営時および試合中は、フロアの窓はすべて開放して常時換気をおこなう。
  - ・ 給水については、必ず自身のボトルを持参することとし、共有は認めない。
  - ・ 汗を拭くときにはユニフォームの袖で拭わない。タオルを用意してそれを利用すること。
- 役員・その他において
  - ・ 役員（審判員含む）は常に、マスクを着用する。審判に入るときにも必ずマスクを着用する。
  - ・ チーム責任者は、参加者に会場地までの往復途上における感染防止対策についても指導すること。